

厚田スポーツセンター廃止の検討について（概要）

1. スポーツセンター廃止の検討に至る経緯

厚田に建設予定の道の駅は、厚田区地域協議会から提出のあった「厚田複合施設基本構想」を基調として、厚田区・浜益区の自然や歴史・食などの地域資源を複合的に活用した「ゲートウェイ型」施設として、域外の需要を取り込み、交流人口の増加や地域産業の振興など、地域の活性化を図ることを目的に整備しようとするもので、平成27年1月に国土交通省の「重点道の駅」に選定され、平成30年春のオープンを目指して準備を進めております。

当施設が建設される厚田公園は、高低差の激しい形状のため、駐車場と施設用地を一体的に整備すると、処分困難な規模の残土が発生することから、現状の平面を最大限活用し、極力切土を発生させない形で検討を進めてきたところであります。

しかしながら、周辺の通過交通量等のデータや集客機能を持たせた道の駅を新たに建設した場合の駐車場収容台数の想定値は140台程度になることから、現在の案でもその収容能力は不足しており、石狩市厚田区多機能拠点形成ビジョンのパブリックコメントや厚田区地域協議会からは、将来の需要増も見込んだ中で十分な駐車場を確保するよう強く求められているところであります。

このことから、今般、隣接するスポーツセンターを解体し、そのエリアに第3駐車場を整備することについて、利用者団体を始め、地域住民への意見交換会やパブリックコメントなどの市民参加手続きを経た上で方向性を検討し、収容台数を確保しようとするものです。

2. 施設の概要

施設名 厚田スポーツセンター（農林漁業者等健康増進施設）
補助名 昭和57・58年度第三期山村振興農林漁業対策事業
所 在 石狩市厚田区厚田106番地26ほか
型式等 鉄骨造平屋建て 1棟 1,044㎡（昭和57年・58年築）
昭和57年度 プール棟 425㎡、管理棟 133㎡
昭和58年度 体育館 486㎡

3. 利用状況

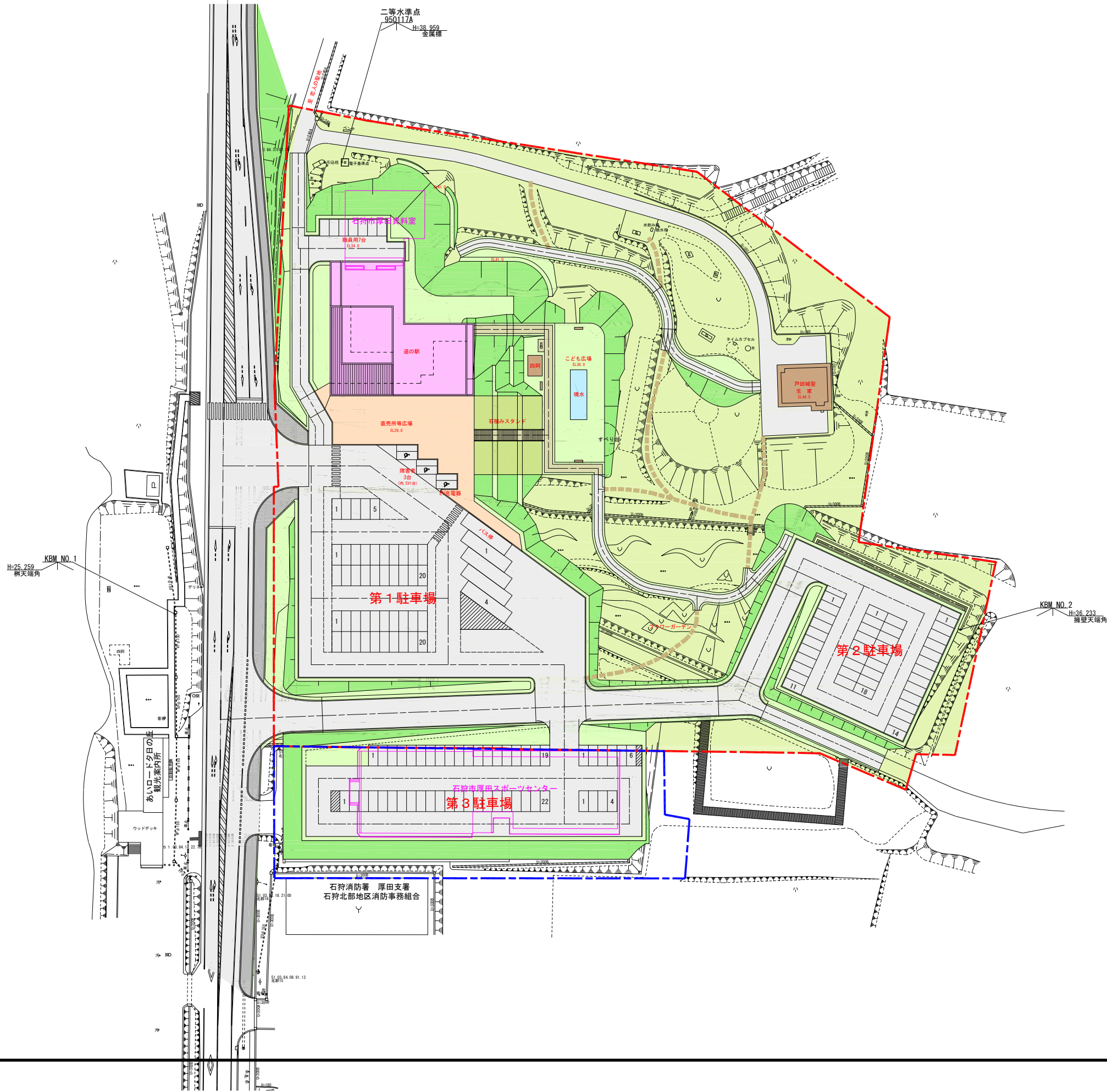
単位：人

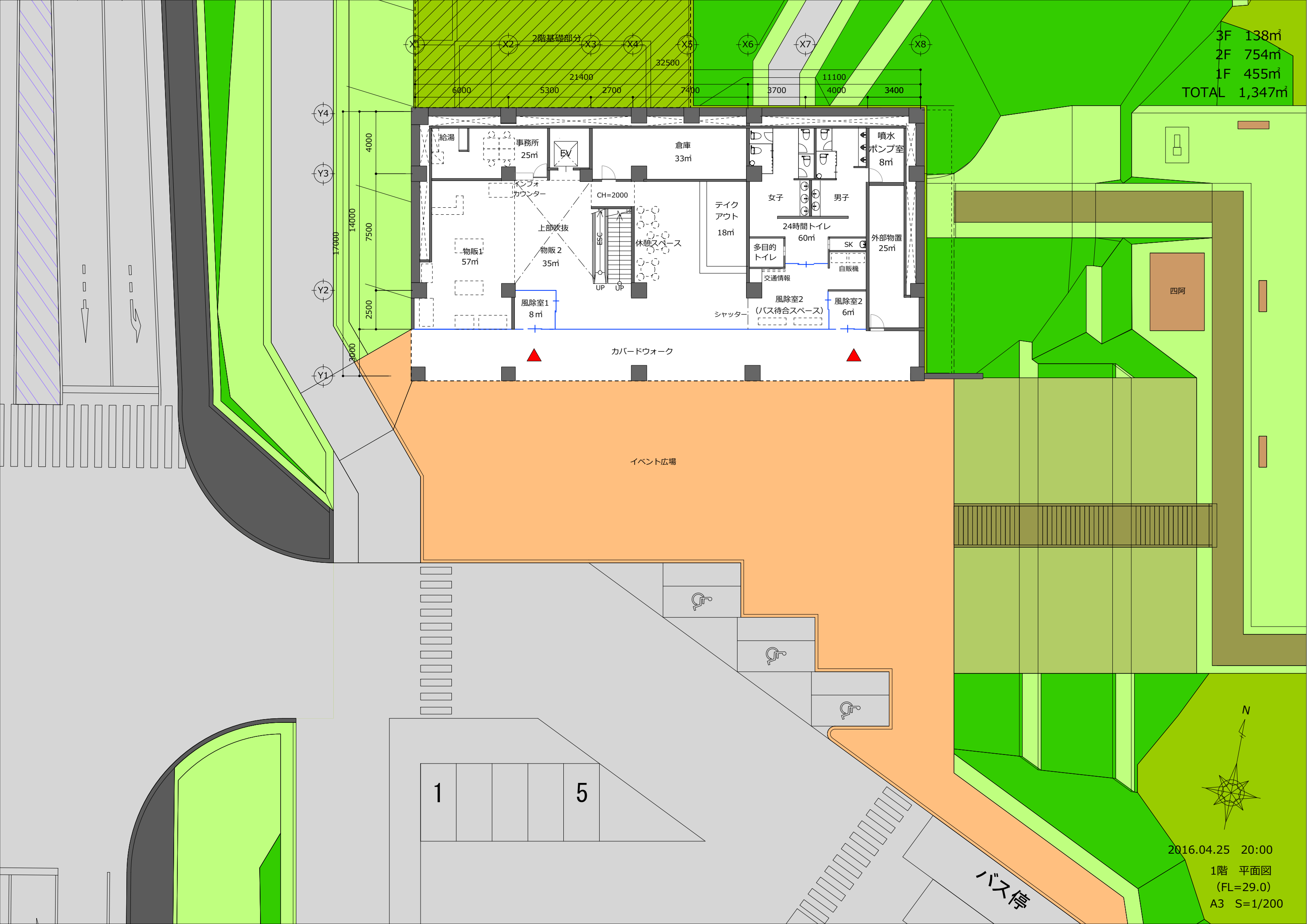
施設名	当初利用計画	最近3年間の利用状況		
		平成24年度	平成25年度	平成26年度
体育館	15,640／年	延2,080	延939	延2,128
プール	5,490／年	延1,323	延1,087	延910
合 計	21,130／年	延3,403	延2,026	延3,038

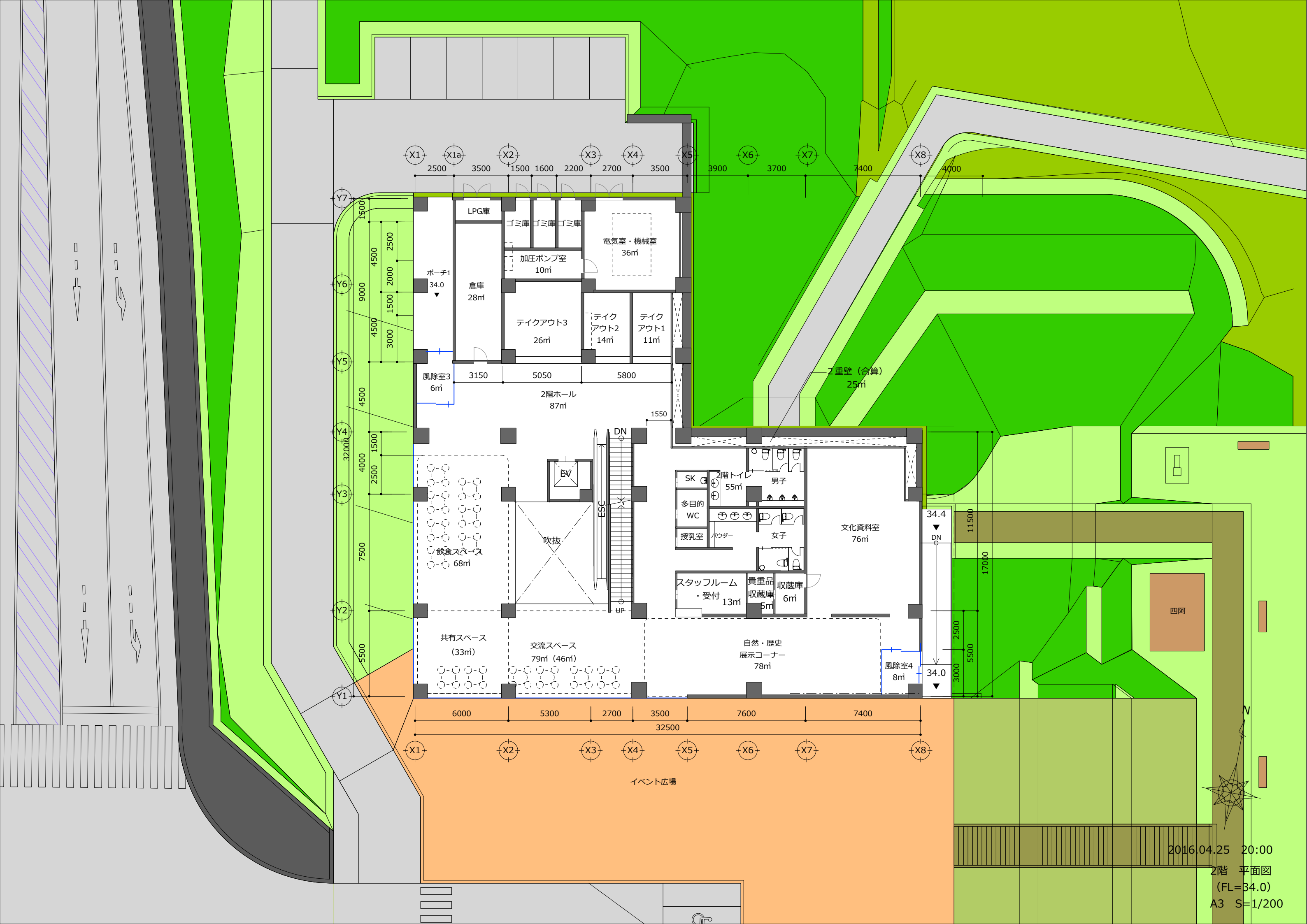
※体育館の主な利用団体は、平成24・26年度に「厚田アクアレール」を開催、又平成24年度から濃昼山道を舞台に「トレイルランニングレース」を開催、利用数全体の64%である。

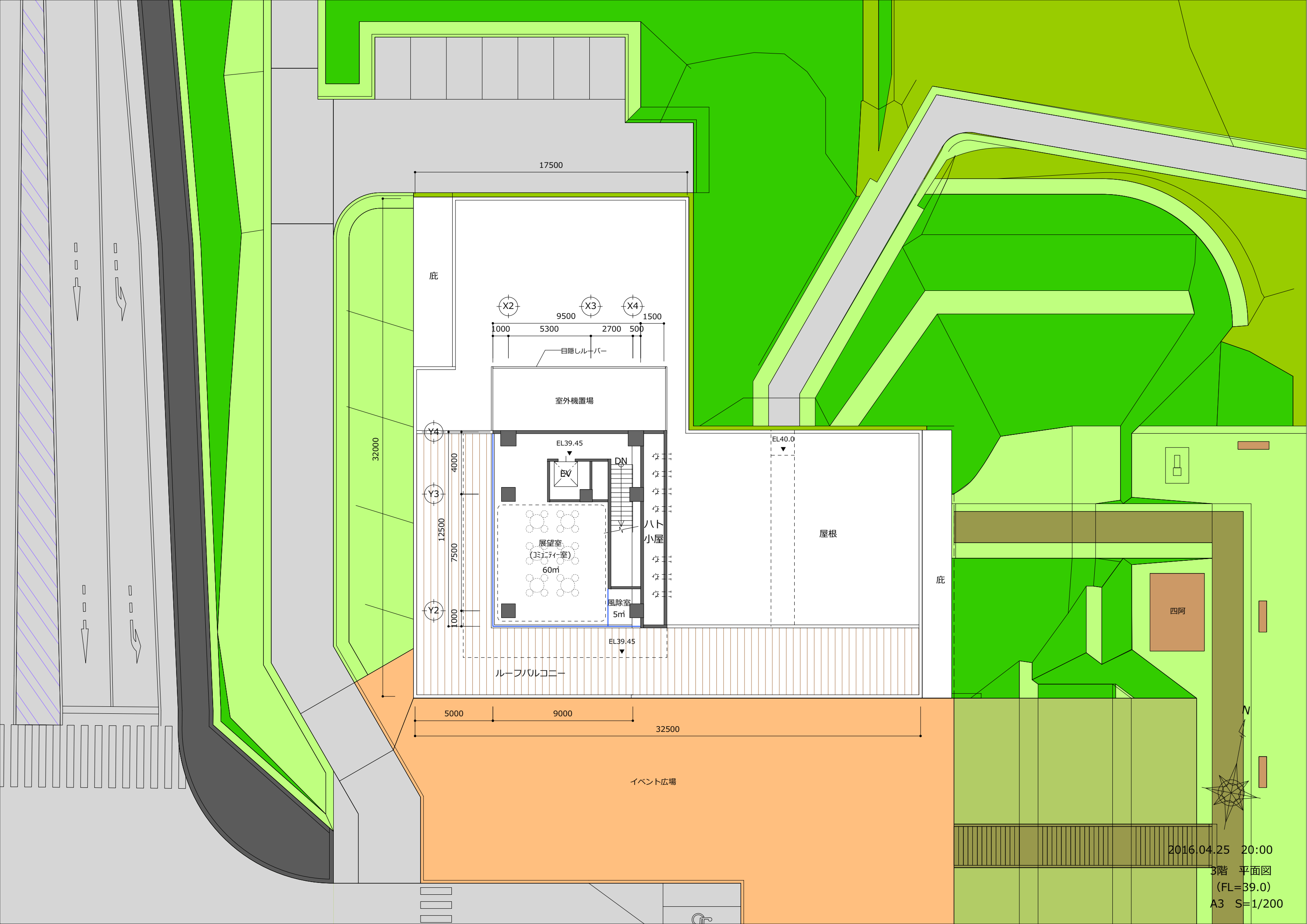
道の駅(仮称)あったか・あいろーど計画案

(A1) S=1: 500
(A3) S=1:1000









2016.04.25 20:00

3階 平面図
(FL=39.0)

A3 S=1/200

事業会社ビジネスモデル

「近・遠」を実現する為に……

地域の人達

【地域とお客様が交流する機会、場の設定】
⇒テナント、チャレンジショップ等でのお客様とのコミュニケーション機会の提供
⇒郷土資料室等での地域ガイドによる案内

お客様

【地域とお客様、Cooperatore お互い
思いを繋ぐ役割】

⇒地域産品仕入れと販売、お客様
評判のフィードバック
⇒地域の最新情報の収集と案内
⇒地域の自慢、誇りの収集と案内

⇒地域の思い(生産者、事業の思い)
の実現(行政、協力機関、協力事業
者)

⇒地域の皆さんが集うコミュニティ

事業会社

【お客様へ地域のおもてなしを提供
する役割】

⇒地域産品販売と一言情報の提供、
産品に関するご意見、アドバイスの
収集
⇒地域情報に基づくコンシェルジュ
⇒地域の自慢、誇りの語り部
⇒お客様ニーズの把握と実現
⇒「ほっとスポット」(トイレ、くつろぎ
空間、吹雪避難所)